

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2017年11月2日
【四半期会計期間】	第21期第2四半期(自 2017年7月1日 至 2017年9月30日)
【会社名】	モーニングスター株式会社
【英訳名】	Morningstar Japan K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役執行役員社長 朝倉 智也
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	(03)6229 - 0810
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 小川 和久
【最寄りの連絡場所】	東京都港区六本木一丁目6番1号
【電話番号】	(03)6229 - 0810
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 小川 和久
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第20期 第2四半期連結 累計期間	第21期 第2四半期連結 累計期間	第20期
会計期間	自 2016年4月1日 至 2016年9月30日	自 2017年4月1日 至 2017年9月30日	自 2016年4月1日 至 2017年3月31日
売上高 (千円)	2,347,145	2,848,310	4,790,853
経常利益 (千円)	821,815	910,833	1,618,000
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	553,306	614,855	1,025,634
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	536,884	644,245	909,839
純資産額 (千円)	8,708,594	9,050,584	9,084,487
総資産額 (千円)	9,412,811	9,920,816	10,092,214
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	6.77	7.52	12.56
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	6.76	7.50	12.53
自己資本比率 (%)	92.4	91.2	89.9
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	402,534	120,656	1,234,601
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	4,136,014	1,245,474	3,578,250
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	593,853	677,446	591,128
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	2,890,512	2,480,408	4,282,704

回次	第20期 第2四半期連結 会計期間	第21期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 2016年7月1日 至 2016年9月30日	自 2017年7月1日 至 2017年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.68	3.16

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものであります。

(1) 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間（2017年4月1日～2017年9月30日）の連結業績は、売上高が前年同期（2016年4月1日～2016年9月30日）の2,347百万円から501百万円（21.4%）の増収となる2,848百万円となりました。

また、売上原価は、前年同期の1,134百万円から457百万円（40.3%）増加し1,591百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期の409百万円から15百万円（3.8%）減少し393百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期の804百万円から59百万円（7.4%）の増益となる863百万円となりました。

営業外損益が、前年同期と比べ、純額で29百万円増加し、その結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益は、前年同期の821百万円から89百万円（10.8%）の増益となる910百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期の553百万円から61百万円（11.1%）の増益となる614百万円となりました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前第2四半期連結累計期間 2016年4月1日から 2016年9月30日まで		当第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年9月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
サービス別売上高					
ファイナンシャル・サービス事業					
データ・ソリューション	923,014	39.3	959,842	33.7	4.0
メディア・ソリューション	587,077	25.0	487,214	17.1	17.0
計	1,510,092	64.3	1,447,057	50.8	4.2
アセットマネジメント事業					
アセットマネジメント	837,052	35.7	1,401,253	49.2	67.4
計	837,052	35.7	1,401,253	49.2	67.4
連結売上高	2,347,145	100.0	2,848,310	100.0	21.4

1) ファイナンシャル・サービス事業

・データ・ソリューション

タブレットアプリの提供台数が前年同四半期末の45,064台から2,474台（5.5%）増加し、47,538台となり、フィンテック関連の受注も増加いたしました。それに伴い、ファンドデータの売上が増加いたしました。また、ファンドレポートの売上も増加いたしました。その結果、データ・ソリューションの売上高は、前年同期の923百万円から36百万円（4.0%）の増収となる959百万円となりました。

・メディア・ソリューション

ウェブ広告や資産運用セミナーなどを統合的に提供するメディア・ソリューションの売上が減少いたしました。また、ウェブ・コンサルティングの売上も減少いたしました。その結果、メディア・ソリューションの売上高は、前年同期の587百万円から99百万円（17.0%）の減収となる487百万円となりました。

2) アセットマネジメント事業

・アセットマネジメント

SBIアセットマネジメント株式会社が運用するファンドの純資産額が、前年同四半期末の1,891億円から810億円(42.9%)増加し2,701億円となり、通常の投資委託者報酬は増加し、前年同四半期より成功報酬型手数料が増加したことにより、投資委託者報酬が増加いたしました。

その結果、アセットマネジメントの売上高は、前年同四半期の837百万円から564百万円(67.4%)の増収となる1,401百万円となりました。

セグメント別には、ファイナンシャル・サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の1,510百万円から63百万円(4.2%)の減収となる1,447百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の620百万円から22百万円(3.7%)の減益となる597百万円となりました。

アセットマネジメント事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期の837百万円から564百万円(67.4%)の増収となる1,401百万円となりました。セグメント利益は、前年同四半期の183百万円から82百万円(44.8%)の増益となる265百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

資産合計は前連結会計年度末と比較して171百万円減少し、9,920百万円となりました。

これは、流動資産が前連結会計年度末と比較して1,516百万円減少し、3,682百万円となったことによるものであります。

流動資産の減少は、主として現金及び預金が1,802百万円減少したことによるものであります。

現金及び預金の減少は、主として投資有価証券を1,279百万円増加したことによるものであります。

固定資産が前連結会計年度末と比較して1,345百万円増加して6,238百万円となったのは、投資有価証券1,279百万円の増加によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比較して137百万円減少し、870百万円となりました。

負債の減少は、買掛金が7百万円・未払法人税等が239百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結累計期間に614百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益が計上され、694百万円の配当を行った結果、利益剰余金が79百万円減少いたしました。

その結果、純資産合計は、前連結会計年度末と比較して33百万円減少し、9,050百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,802百万円減少し、2,480百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、281百万円減少し、120百万円の獲得となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益が前年同期間と比べ89百万円増加した一方、法人税等の支払額が246百万円増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期間と比べ、2,890百万円減少し、1,245百万円の支出となりました。

これは、主として、投資有価証券の取得による支出が前年同期間の4,313百万円から、当第2四半期連結累計期間は1,127百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期間に比べ、83百万円減少し、677百万円の支出となりました。

これは、主として配当金の支払額が前年同期間の593百万円から、当第2四半期連結累計期間は693百万円となったことによるものであります。

(4) 事業上および財務上の当社が対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	315,600,000
計	315,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2017年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2017年11月2日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	83,973,600	83,973,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	83,973,600	83,973,600		

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2017年7月1日～ 2017年9月30日	-	83,973,600	-	2,115,620	-	2,506,927

(6)【大株主の状況】

2017年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する所有株式 数の割合 (%)
SBI グローバルアセットマネジメント株式会社	東京都港区六本木1丁目6-1	40,466,100	48.2
モーニングスター・インク (常任代理人 大和証券株式会社)	米国イリノイ州シカゴ市ウェストワシントンストリート22 (常任代理人住所) (東京都千代田区丸の内1丁目9番1号)	27,518,400	32.8
鈴木 智博	石川県金沢市	1,470,000	1.8
富春 勇	広島県広島市西区	1,083,000	1.3
ザ バンク オブ ニューヨークジャス ディック トリーティー アカウ ント (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	(常任代理人住所) (東京都港区港南2丁目15-1)	1,000,000	1.2
ステート ストリート バンク ア ンド トラスト カンパニー (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	(常任代理人住所) (東京都中央区日本橋3丁目11-1)	912,529	1.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	東京都港区浜松町2丁目11番3号	710,000	0.8
ビービーエイチ/デスティネーションズ インターナショナル エクイティファン ド/ワサッチ アドバイザーズ (常任代理人 株式会社三井住友銀行デ ットファイナンス営業部)	(常任代理人住所) (東京都千代田区丸の内1丁目3番2号)	388,500	0.5
高野 潔	埼玉県新座市	240,000	0.3
七海 秀之	埼玉県朝霞市	188,300	0.2
計	-	73,976,829	88.1

(注) 当社は、自己株式を2,230,500株保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

(7)【議決権の状況】
 【発行済株式】

2017年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式2,230,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式81,741,900	817,419	
単元未満株式	普通株式1,200		
発行済株式総数	83,973,600		
総株主の議決権		817,419	

【自己株式等】

2017年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
モーニングスター 株式会社	東京都港区六本木 一丁目6番1号	2,230,500		2,230,500	2.7
計		2,230,500		2,230,500	2.7

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2017年7月1日から2017年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,482,501	2,680,213
売掛金	530,889	866,614
たな卸資産	1,248	1,648
繰延税金資産	45,053	34,410
その他	138,045	94,846
流動資産合計	5,198,971	3,682,569
固定資産		
有形固定資産	2,579,997	2,646,694
無形固定資産		
のれん	314,975	303,625
ソフトウェア	350,430	370,799
その他	35,228	91,414
無形固定資産合計	700,634	765,838
投資その他の資産		
投資有価証券	3,882,742	5,162,351
繰延税金資産	55,826	42,590
その他	196,043	202,771
投資その他の資産合計	4,134,611	5,407,714
固定資産合計	4,893,242	6,238,247
資産合計	10,092,214	9,920,816

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,865	50,791
未払金	327,092	431,236
未払法人税等	561,754	321,894
未払消費税等	44,707	47,125
その他	16,308	19,184
流動負債合計	1,007,727	870,232
負債合計	1,007,727	870,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115,620	2,115,620
資本剰余金	3,250,035	3,256,057
利益剰余金	4,222,590	4,143,143
自己株式	395,943	385,487
株主資本合計	9,192,301	9,129,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,794	86,403
その他の包括利益累計額合計	115,794	86,403
新株予約権	7,979	7,655
純資産合計	9,084,487	9,050,584
負債純資産合計	10,092,214	9,920,816

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
売上高	2,347,145	2,848,310
売上原価	1,134,079	1,591,413
売上総利益	1,213,065	1,256,896
販売費及び一般管理費	1,409,038	1,393,320
営業利益	804,026	863,576
営業外収益		
受取利息	19,400	50,185
受取配当金	60	18
信託運用益	2,018	-
その他	117	1
営業外収益合計	21,596	50,205
営業外費用		
支払利息	11	-
為替差損	1,652	457
持分法による投資損失	1,142	2,401
その他	1,000	88
営業外費用合計	3,807	2,947
経常利益	821,815	910,833
税金等調整前四半期純利益	821,815	910,833
法人税、住民税及び事業税	265,328	285,071
法人税等調整額	3,180	10,907
法人税等合計	268,508	295,978
四半期純利益	553,306	614,855
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	553,306	614,855

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
四半期純利益	553,306	614,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,422	29,390
その他の包括利益合計	16,422	29,390
四半期包括利益	536,884	644,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536,884	644,245
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	821,815	910,833
減価償却費	54,901	64,400
長期前払費用償却額	3,137	3,094
のれん償却額	26,403	11,350
受取利息及び受取配当金	19,460	50,203
支払利息	11	-
信託運用益 (は益)	2,018	-
為替差損益 (は益)	439	31
持分法による投資損益 (は益)	1,142	2,401
売上債権の増減額 (は増加)	141,394	335,724
たな卸資産の増減額 (は増加)	28,326	4,002
仕入債務の増減額 (は減少)	41,741	7,073
未払金の増減額 (は減少)	10,116	62,948
その他の流動資産の増減額 (は増加)	26,202	22,294
その他の流動負債の増減額 (は減少)	36,592	7,983
小計	678,885	643,744
利息及び配当金の受取額	88	25
利息の支払額	11	-
法人税等の支払額	276,427	523,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	402,534	120,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	3,026	14,769
無形固定資産の取得による支出	119,295	97,855
投資有価証券の売却による収入	300,000	-
投資有価証券の取得による支出	4,313,692	1,127,668
敷金及び保証金の回収による収入	-	1,914
敷金及び保証金の差入による支出	-	7,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,136,014	1,245,474
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ストックオプションの行使による収入	-	16,153
配当金の支払額	593,499	693,599
リース債務の返済による支出	353	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	593,853	677,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	439	31
現金及び現金同等物の増減額 (は減少)	4,327,772	1,802,296
現金及び現金同等物の期首残高	7,218,285	4,282,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,890,512	1 2,480,408

【注記事項】

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 たな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
仕掛品	789千円	4,853千円
貯蔵品	1,692	1,631

2 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年9月30日)
	212,825千円	221,079千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
従業員給与	123,382千円	112,799千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)
現金及び預金勘定	3,090,283千円	2,680,213千円
有価証券	-	-
証券口座預け金(その他流動資産)	296	296
3ヶ月超の定期預金	200,067	200,101
現金及び現金同等物の四半期連結会計 期間末残高	2,890,512	2,480,408

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2016年4月22日 取締役会	普通株式	利益剰余金	571,701	7.00	2016年3月31日	2016年6月2日

当第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日
2017年5月19日 取締役会	普通株式	利益剰余金	694,302	8.50	2017年3月31日	2017年6月2日

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナン シャル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,510,092	837,052	2,347,145	-	2,347,145
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,104	-	4,104	4,104	-
計	1,514,196	837,052	2,351,249	4,104	2,347,145
セグメント利益	620,537	183,489	804,026	-	804,026

当第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整 に関する 事項	連結 財務諸表 計上額
	ファイナン シャル・サー ビス事業	アセットマネ ジメント事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,447,057	1,401,253	2,848,310	-	2,848,310
セグメント間の内部売上高又は振替高	15,989	-	15,989	15,989	-
計	1,463,046	1,401,253	2,864,299	15,989	2,848,310
セグメント利益	597,824	265,751	863,576	-	863,576

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する項)
 (単位:千円)

売上高	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	2,351,249	2,864,299
セグメント間取引消去	4,104	15,989
四半期連結損益計算書の売上高	2,347,145	2,848,310

(単位:千円)

利益	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
報告セグメント計	804,026	863,576
セグメント間取引消去	-	-
四半期連結損益計算書の営業利益	804,026	863,576

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(有価証券関係)

その他有価証券が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

前連結会計年度(2017年3月31日)

	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
(1) 株式	32,425	33,461	1,036
(2) 債券			
国債・地方債等	-	-	-
社債	-	-	-
その他	-	-	-
(3) その他	4,000,000	3,833,004	166,996
合計	4,032,425	3,866,465	165,960

当第2四半期連結会計期間(2017年9月30日)

	取得原価(千円)	四半期連結貸借対照表計上額(千円)	差額(千円)
(1) 株式	60,093	61,780	1,687
(2) 債券			
国債・地方債等	-	-	-
社債	-	-	-
その他	-	-	-
(3) その他	5,212,919	5,086,695	126,223
合計	5,273,012	5,148,476	124,536

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	6円77銭	7円52銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	553,306	614,855
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	553,306	614,855
普通株式の期中平均株式数(株)	81,671,600	81,712,075
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	6円76銭	7円50銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
(うち、子会社の発行する潜在株式による四半期純利益調整額)(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	118,903	277,057
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものではありません。		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

記載すべき事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2017年11月1日

モーニングスター株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小堀 一英 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古谷 大二郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているモーニングスター株式会社の2017年4月1日から2018年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2017年7月1日から2017年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2017年4月1日から2017年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、モーニングスター株式会社及び連結子会社の2017年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。